

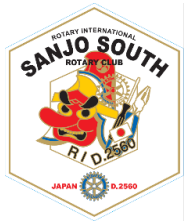


# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026  
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2026. 4. 6 - 4. 13 合併号

2026. 4. 6

第一例会

No.2556

No.28



会長挨拶  
三条南ロータリークラブ  
会長

木村 譲

まず初めに、本日の例会における重要な議題についてご報告いたします。前回の理事会での議論を受けまして、「家族会員および法人会員については、入会から2年間に限り会費を半額にする」というルール改正を提案させていただきました。こちらはすでに理事会での承認を得ております。この後、5月の例会の中で皆様にお諮りいたしますが、出席者の過半数の賛成をもって正式な承認となりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、先日4月4日に、2560地区の「米山・財団感謝の集い」に出席してまいりました。これは、米山記念奨学委員会とロータリー財団委員会が春と秋に共同で開催している行事で、日頃から多額のご寄付をいただいている皆様へ感謝をお伝えする場です。ここ2年ほどで、このような形式で合同開催されるようになったとのことでした。

会の中では、地区の現況についていくつかのご報告がありました。

まず、2026年度の米山奨学生は、昨年からの継続が8名、新規の方が16名で、合計24名になったとのことでした。

一方で、ロータリー財団全体への寄付額については、残念ながら昨年と比べて毎月3~5%程度減少傾向にあるそうです。

しかし、その寄付を力強く支えてくださっている方々の存在も紹介されました。年間1,000ドル以上寄付される「ポール・ハリス・ソサエティ」や、年間100ドル以上寄付される「ポリオプラス・ソサエティ」の会員は、ロータリー全体で見ればわずか2%程度ですが、財団全体の補助金拠出額の約20%をその方々が担ってくださっています。さらに当2560地区からは、小千谷クラブのバスターガバナーである佐々木様が、地区内で唯一「アーチ・クランフ・ソサエティ（累計寄付額25万ドル以上）」のメンバーでいらっしゃるという紹介もございました。

これら数字の報告以上に心を打たれたのは、寄付によって直接支えられた方々の生の声でした。奨学生が日本に来たことで自分の人生がどのように好転したか

を語る体験談や、奨学生とのご縁がきっかけとなって、他国のロータリークラブとの姉妹締結に至ったというクラブの事例など、大変興味深く素晴らしいお話を伺うことができました。

地区の活動というものは、「実際にその委員会に入ってみないと実態が分かりづらい」とよく言われます。今回のような複数委員会の共同事業も珍しい機会ですが、行事後の懇親会を通じて、自クラブの枠を超え、地区や様々な委員会の方々と交流できることこそが、こうした「地区ならでは」の貴重な経験になるのだと感じました。

皆様におかれましても、今後クラブを通じて「地区への推薦」や役員などのお願いがあった際には、普段とは一味違う新しいロータリーの友情と出会いを期待していただき、お返事はぜひ\*\*「はい」か「イエス」\*\*でお願ひできればと存じます。本日も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- ◆本日の出席：39名中28名
- ◆先週までの通算出席率：90.16%
- ◆先週までのメイクアップ：▷3/30 次年度クラブ運営会議（例会場）吉沢栄一さん、布施純也さん、中村靖さん、関博市さん、田中康之さん、永井篤利さん、太田義人さん、木村譲さん
- ▷4/5 高額寄付者感謝の集い（イタリア軒）木村譲さん
- ◆幹事報告：加藤一芳幹事
- ▶2026年4月のRレート1ドル160円（3月156円）

## ニコニコボックス

4/6 20,000円 今年度累計 503,000円

木村会長「桜が咲き始め、きれいな季節になりました」

加藤幹事「今年は花粉症にならなくて済みそうです」

吉沢エレクト「桜きれいですね。桜が咲くとこの辺は寒い日もあり風邪をひく人が増えると平井屋の大将が言われていました。体調に気をつけます」

渡辺(俊)さん「いい陽気になって来ました。今年も暑くなりそうですね」

榎本さん「春らしくいいお天気ですね」

長谷川さん「桜が咲きました」

坂井さん、野崎さん、田代さん、銅冶さん、平松さん

田村さん、坪井さん、石山さん、太田さん、中村さん

関さん、江花さん「BOXに協力します」

大溪さん「桜の季節になりました。」

BOXにご協力ありがとうございました

よいことのために  
手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ(イタリア)  
第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)  
第4分区分ガバナー補佐 青柳 修次(燕)  
会長 木村 譲  
幹事 加藤 一芳  
S A A 関 博市

事務局  
〒955-8666 三条市町2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL 0256-35-3477  
FAX 0256-32-7095  
E-mail info@sanjo-minami.jp  
URL https://www.sanjo-minami.jp



クラブ会報委員会  
田中康之 会員

横組み

P5~13 「日本から世界へ未来の地球に送る希望の種」  
新鷺西 RC 「ドイツ・ジョラケ丘陵の環境保全」  
新鷺万代 RC 「ビジョンケアプロジェクト」  
その他クラブの環境保全の奉仕活動

P30~31 「エバンストン便り」

2026.27年度 RI 理事会  
国際大会 2029 年の開催地はスペイン・バルセロナ  
2031 年はアイルランド・ダブリンを暫定的に選定

縦組み

P2~6 「長と千種〜育てられる学び方」



◆理事・役員会報告【4月定例理事・役員会】  
日時：2026年4月6日(月)12：10より  
会場：三条信用金庫3階ロビー 出席：16名中14名  
議事1. クラブ細則の変更について 【承認】  
5月18日例会にてお諮りいたします  
議事2. 米山奨学会、ポリオプラス寄付について 【承認】

2026. 4. 13 職場例会 No.2557 No.29

会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長 木村 謙

皆様、こんにちは。本日の例会は「職場例会」ということで、通常の会場を離れての開催となります。まずは、本日の職場例会の開催にあたり、ご尽力いただきました平松委員長をはじめとする職業奉仕委員会、また親睦委員会の皆様、誠にありがとうございます。そして何より、私たちの見学を快くお引き受けいただきましたアネックスツールの兼古敦史社長様、この場をお借りして心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

お聞きするところによりますと、工場の現場には企業秘密といいますが、本当はあまり見せたくない部分もあったようですが、今回は「平松さんのお願いだから特別に」ということで、見学をお許しいただいたとお聞きしております。貴重な機会をいただき、本当に感謝申し上げます。

ロータリーの「職業奉仕月間」は本来であれば1月となっておりますが、1月は天候も悪い時期であることから、本年はこの4月に時期を変更して、本日の職場見学を企画していただきました。

アネックスツール様といえば、皆様もご存知の通り、我が三条市を代表する企業の1つです。こうして実際の現場を拝見し、その空気に触れ、その技術や工夫を直接学ぶことは、私たちロータリアンにとって改めて「職業奉仕」の原点やその持つ意味を見つめ直す大変意義深い機会となります。



本日は、三条が誇るものづくりの素晴らしい現場をしっかりと見学させていただき、そして皆様とともに有意義な学びと親睦の時間を過ごしたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。

- ◆本日の出席：39名中25名
- ◆先週までの通算出席率：90.00%
- ◆本日の例会場：アネックスツール株式会社刃先工場2F会議室▷三条市塚野目2201番地（三条金属工業団地）
- ◆本日のゲスト：▷アネックスツール株式会社取締役会長兼古耕一様▷代表取締役金子敦史様▷社長補佐星野勝亮様▷営業部倉重翔様

# ニコニコボックス

4/13 22,000円 今年度累計 525,000円

木村会長「本日はアネックスツール様、お世話になります」

加藤幹事「アネックスツール様、本日は職場例会、工場見学よろしくお願いします」

平松さん「アネックスツールさん、ありがとうございます」

吉沢エレクト、野崎さん、松崎さん、田代さん、永井さん、布施さん、関さん、桑原さん「アネックスツールさん、本日は職場例会よろしくお願いします。ありがとうございます」

長谷川さん「兼古社長今日はよろしくお願いします」

廣岡さん「すっかり春で温かい日でよかったですね。よろしくお願いします」

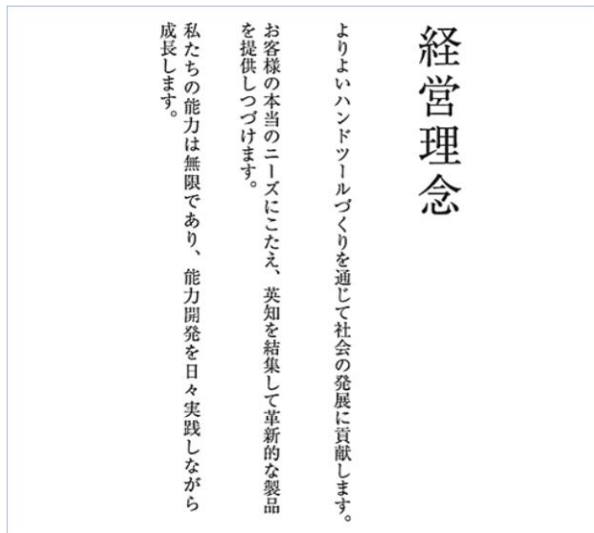
荒澤さん、銅冶さん、永桶さん、熊倉さん、木村(備)さん、石山さん、藤田さん、田中さん「BOXに協力します」

中村さん「BOXにご協力ありがとうございました」



## 行動規範

「私たちは よりよく よりすばらしく 行動します」



## 独自の一貫体制

ANEX は、独自の技術力を駆使して金属加工から熱処理・プラスチック成形・組立 まで、最適の生産管理により社内一貫生産しております。ANEXのドライバーは日本工業規格（JIS 規格）及びカメラ映像機器工業会規格（CIPA 規格）に基づき、厳しい寸法精度で製作しているため、ねじのかん合が抜群です。また、その他のハンドツールについても技術に溺れることなく、マーケットを常に直視し、実際に使用される方の声に耳を傾け、お客さまが本当に必要としている商品をいち早く具現化・設計・量産しています。市場に送り出す商品として備えるべき、すべての条件をクリアすることこそ、ANEXの基準であり、徹底した品質管理の姿です。

